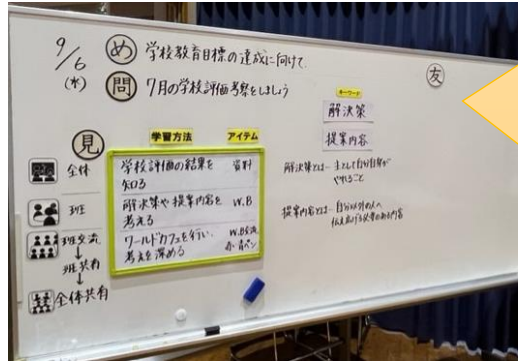
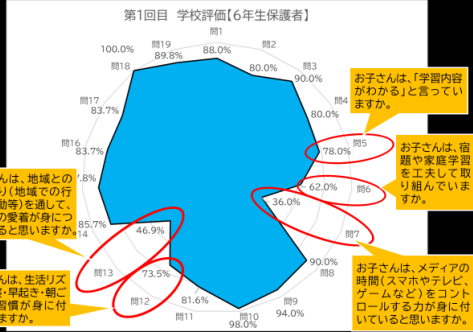


第3回学校運営協議会の様子

R5.9.6 図書室にて

第1回学校評価の結果をもとに進化型あらおベーシックスタイルで熟議を実施

第1回 学校評価の結果【保護者】

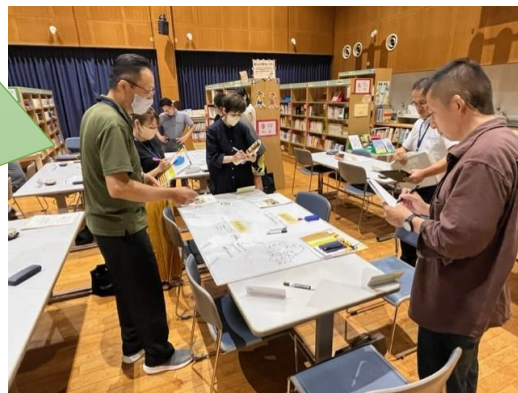


1回目の学校評価結果(児童、保護者、運営協議会委員、教職員)から見えてきた課題をもとに、学校教育目標実現に向けた話し合いをしました。子供たちが授業で取り組む「進化型あらおベーシックスタイル」です。見通しやキーワードを使った話し合いです。

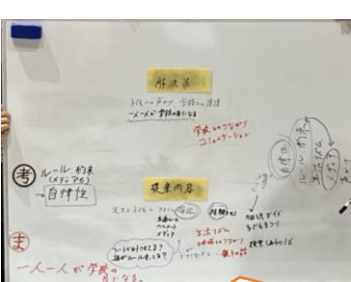
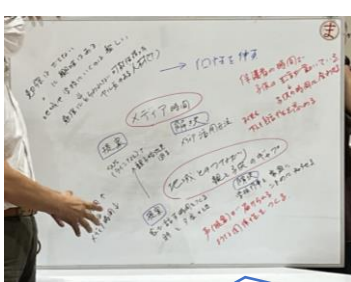
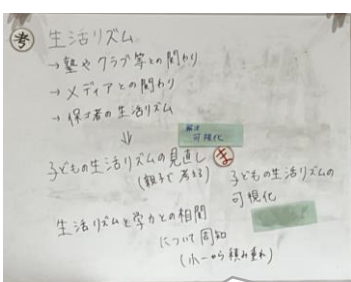
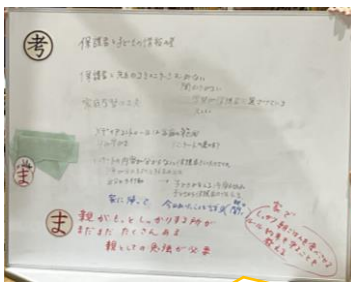


4つのグループに分かれて、話し合いました。学校運営協議会委員の方々には、様々な立場(保護者、地区協議会、民生委員、学校関係など)の方ですので、それぞれの視点からの意見がありました。各グループには事務局の本校職員も参加して、話し合いが進められました。

話し合いの後は、ワールドカフェ方式で他のグループの考えを聞きに動きます。委員さん方もアクティブラーニングに取り組み、新たな視点を加えていきます。



再度、グループで整理し直したものを、全体で共有するために発表しました。キーワード「解決策」と「提案内容」を意識した発表をしていただきました。



岩村委員、山地委員、平野委員グループ

子供が、家に帰って、学校の出来事を話すために保護者は子供の話を聞くこと。保護者がもっとしっかりすること(朝ご飯を食べさせ、ルールや約束を守ることなど)を教えるように提案。

田中委員、谷口委員、田添委員グループ

生活リズムの見直しのために、親子で子供の生活リズムを可視化して意識する。生活リズムと学力の相関関係も早い段階から保護者に伝えていく。

渡邊委員、中村委員、平川委員グループ

子供たちが地域に出て活躍していることを保護者が知るためにも、親子の会話の重要性を提案。親子の会話＝メディア時間の減少へ逆にSNSを使った親子の会話も提案。

寺田委員、池田委員、竹中委員、森崎委員グループ

“一人一人が学校の目になる”というフレーズが印象的でした。自律性を高めるためにも、今一度ルールを守っていることを学校も子供も保護者も確認することを提案。

第4回目の会議は、11月22日(水)の研究発表会当日に子供たちを交えて公開で行うこととなっています。